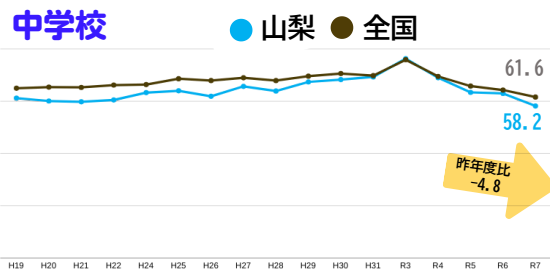
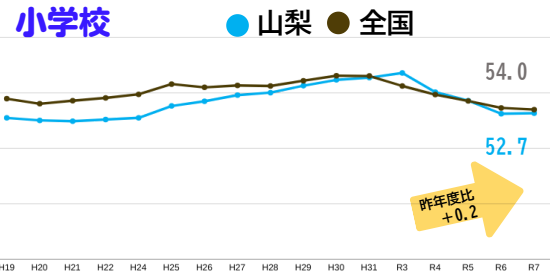




平日、1日1時間以上勉強をしている



学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えている

小 97.5% (+0.9)
中 97.6% (+4.8)

学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるようにした

小 92.6% (+2.0)
中 89.1% (+3.2)

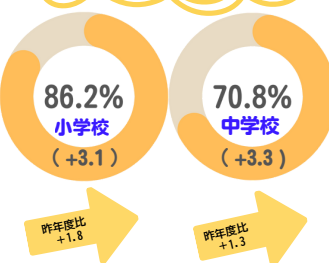
児童(生徒)が行った家庭学習の課題を、教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かした

小 91.4% (+1.0)
中 87.9% (+3.9)

学校が子供たちにとって、「楽しい場所」「自分と違う価値観に出会う場所」であるよう取組を継続していきましょう

子供たちの現状から...

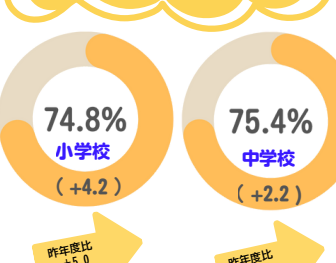
将来の夢や目標を持っている



学校に行くのは楽しい



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



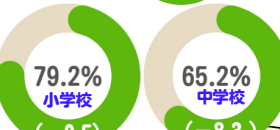
自分と違う意見について考えるのは楽しい



学校が安心して学び続けられる居場所であるよう、子供たちを支えていきましょう



家庭や地域との連携等8項目の平均



教育課程の趣旨について、家庭や地域と共有を図っている

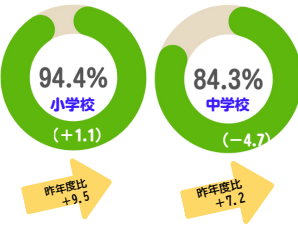
【小】職場見学を実施している
【中】職場体験活動を3日以上実施している

コミュニティ・スクール等の仕組みを活用し、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映している

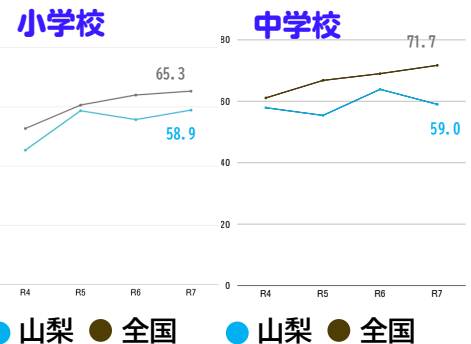
地域学校協働活動の仕組みを生かし、保護者や地域住民との協働による活動を行った

社会に開かれた教育課程の実現に向けて、引き続き家庭や地域との連携・協働を進めていきましょう

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった

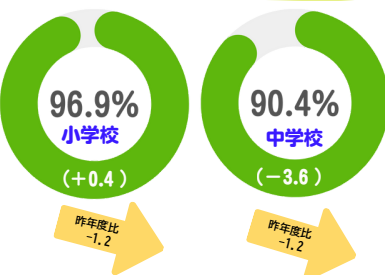


近隣の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

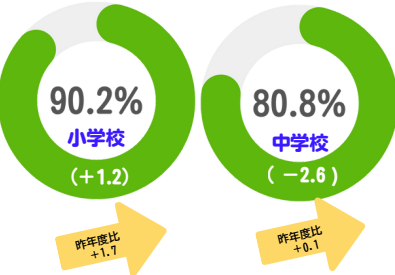


全国学力・学習状況調査の活用

全国学力・学習状況調査の自校の結果を、対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動の改善するために活用した



全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表・説明を行った



※ () 内はR7全国平均との差(ポイント)
※円グラフの数値は、肯定的な回答(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)の合計

児童生徒質問調査

困っている人がいたら、進んで助けている

先生は、あなたのよいところを認めてくれている

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

授業でICT機器を週3回以上使用した

級友と話し合う活動で...自分の考えを深めている!新たな考え方に気付くことができています!

授業は自分にあった教え方、教材、学習時間になっている

各教科等の学びを生かし、考えをまとめる活動をしている

困りごとや不安を、先生や学校にいる大人に相談できる

自分にはよいところがある

授業での学びを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりできる

授業で自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している

地域や社会をよくするために何かしてみたい

令和7年度

全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査 学校質問調査から

やまなしをみる!

誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現に向けて

ICT機器の活用では、学校内外で必要なサポートが十分受けられる

総合的な学習の時間において、探究の過程を意識した指導をしている

家庭学習で、児童生徒が学ぶ内容や学び方を決める等、工夫している

学級での話し合いを生かし、児童生徒一人一人が、今努力すべきことを意思決定できる指導をしている

校外の教育に関する研修会等に定期的・継続的に参加している

学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見を生かして解決方法を導き出す指導をしている

児童生徒が調べる場面において、ICT機器を週3回以上使用している

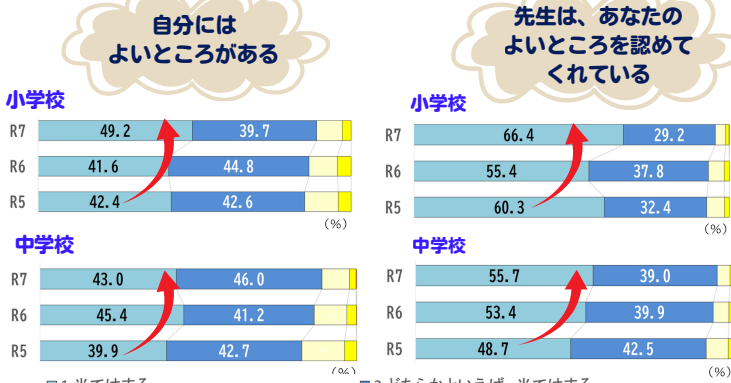
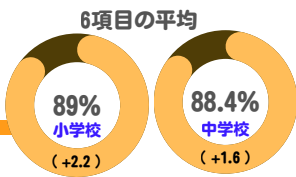
学校質問調査

※質問調査において、肯定的な回答が全国平均と比べて比較的高い傾向にある項目

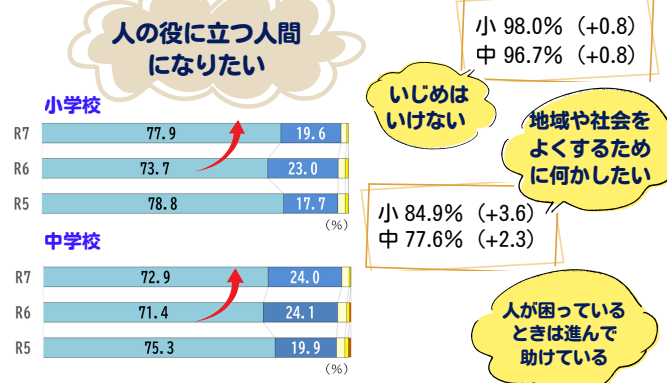
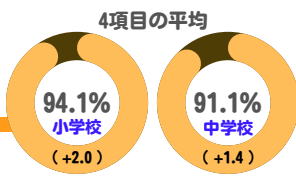


説明動画はこちらから

自己有用感

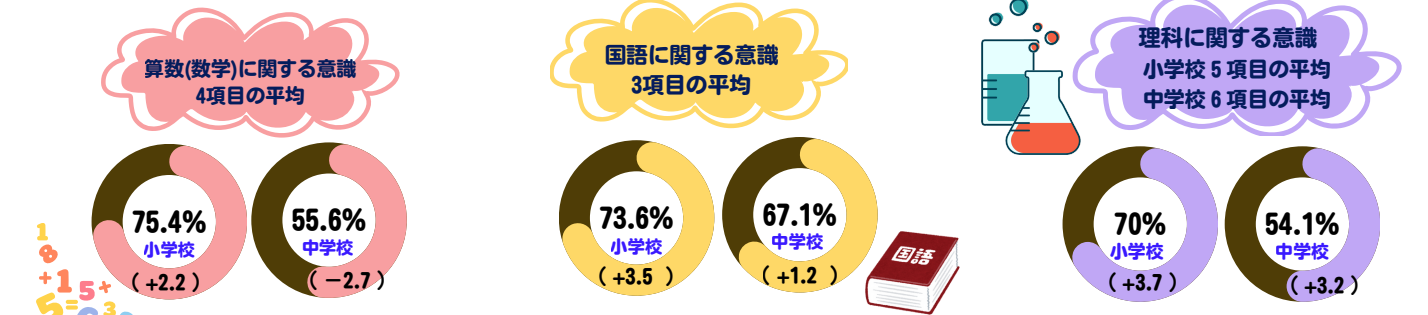


向社会性



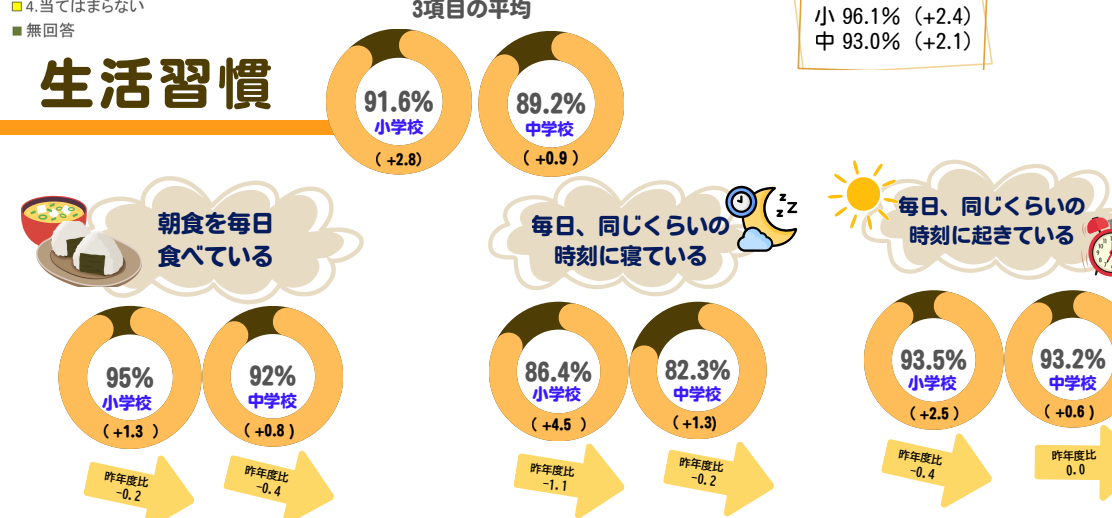
教科に関する意識

国語・算数(数学)・理科の勉強は得意、国語・算数(数学)・理科の勉強は好き、教科で学んだことは生活(社会の中)で役に立つ など



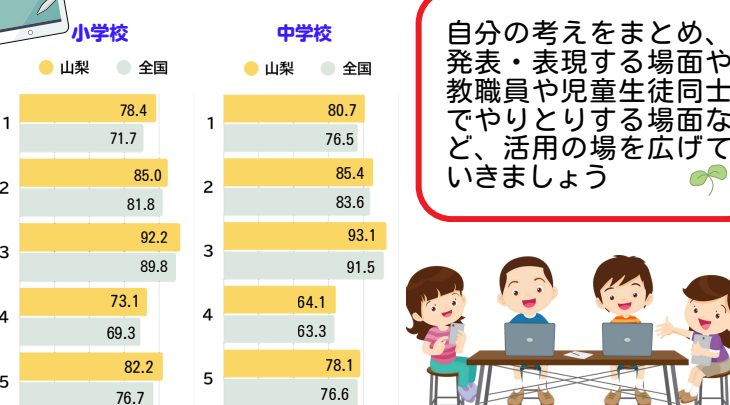
生活習慣

自己有用感を高める山梨の教育を継続していきましょう



ICTを活用した学習状況

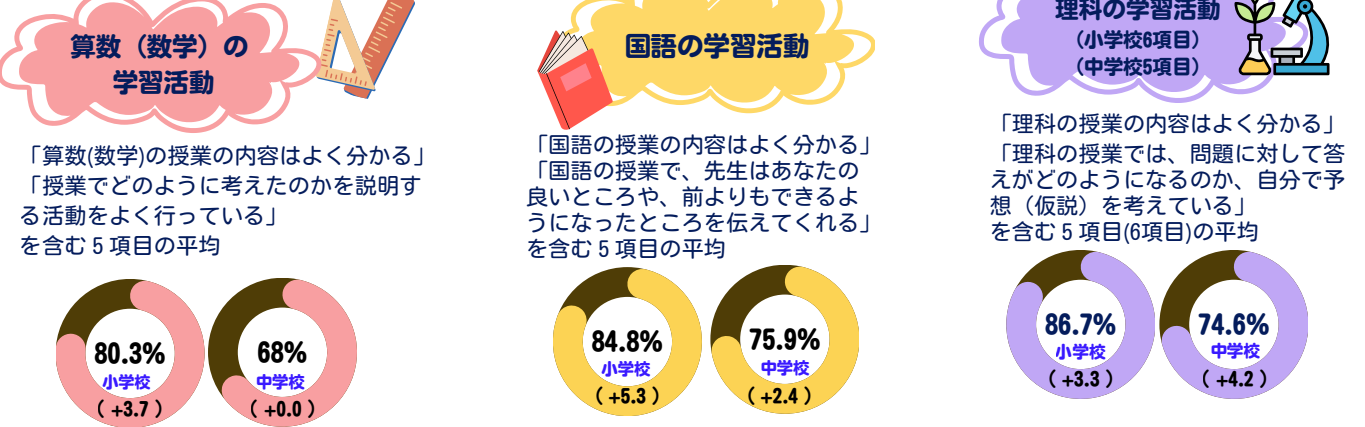
- 5年生まで(1,2年の時)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、【週に3回以上】使用した
- PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書く等)ことができる
- インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べる等)ことができる
- PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる
- PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる



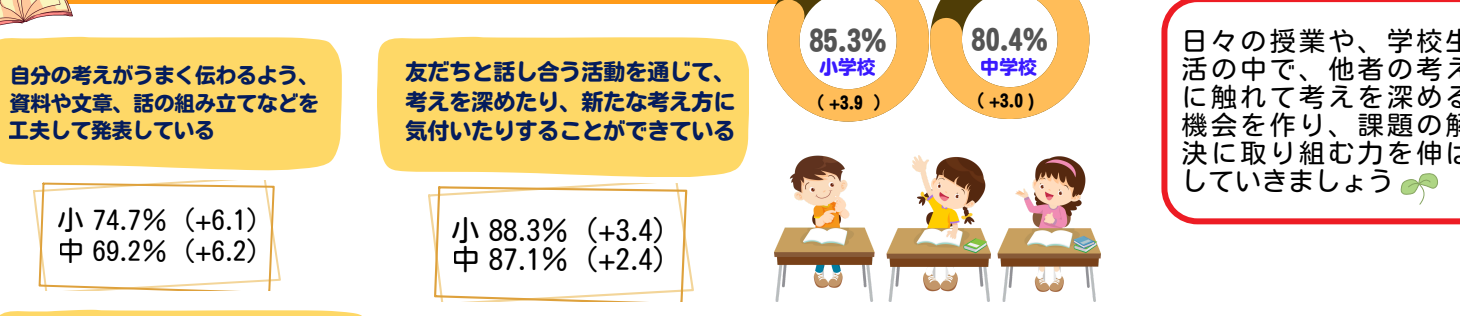
自分の考えをまとめ、発表・表現する場面や教職員や児童生徒同士でやりとりする場面など、活用の場を広げていきましょう



教科の学習活動



主体的・対話的で深い学び



授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができている

小 86.5% (+4.0)

中 78.7% (+3.9)

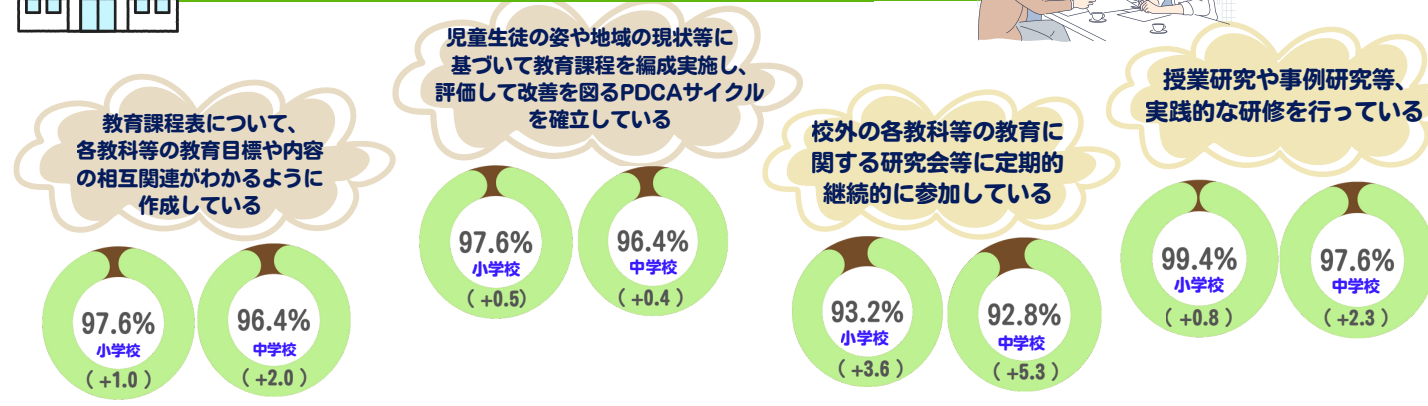
児童生徒質問調査

学校質問調査

※()内はR7全国平均との差(ポイント)

※円グラフの数値は、肯定的な回答(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)の合計

学校運営/教職員の資質向上



各種調査の結果から、山梨県の現状や課題を明らかにし、よりよい授業づくり、学習環境づくりの一助としていきます。

※各グラフの数値は、公立学校の結果を集計した割合